

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～玉名市立玉南中学校での実践～



【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

親の立場になって考えよう！～携帯・スマホ等の安全利用～



アドジャントークでアイスブレイク



ある親子の会話を聞いて考えよう



互いに納得できる方法はないかな？



話したことをみんなで交流しよう

【講座の日程等】

日にち：令和4年7月14日（木）

場 所：玉名市立玉南中学校

日 程：2校時・3校時（9：45～11：35）

対 象：玉南中学校 第1学年1組・2組（2学級）48名

進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 岩田 博史

【講座の説明】

生徒たちにとって身近なツールとなった携帯・スマホ等の利用について、親の立場になって考えることを通して、現状を見つめ直したり、親子が納得するための方法を考えたりして、安全で正しい利用につなげることをねらいとした。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」プログラム講座次世代編について（ねらい）
- 2 アイスブレイク
 - ①頭の体操（広い視野で柔軟な考え方）
 - ②アドジャントーク（3～4人のグループトーク）
- 3 メインプログラム
 - ①YES or NOクイズ（親の立場で考える）
※説明（インターネットの利用率、スマホ所持率等）
 - ②ある親子の会話から・・・（親だったら何と言う？）
※説明（インターネットの特性、利便性と危険性等）
 - ③親子が納得できる方法を考えよう（グループトーク）
- 4 まとめ
 - ・保護者とのコミュニケーション、家庭でのルールづくり

【生徒の感想】

- 親の立場になって考えてみると、お母さん、お父さんがSNSの危険性を心配して言ってくれているのだなと思った。家族で決めた条件（ルール）をしっかりと使うことが大切だと思った。
- 親子両方の立場になって考えることで、自分の考えが変わったり、新しい考えが出てきたりした。
- 今後のインターネットの使い方を少し見直す機会になったのかなと思った。
- 親の目線に立ってみて、自分がしている今の生活を見直し、少しでも家族の役に立つことをしたいと思った。

【参観者（学校職員）の感想】

- 教え込むだけでなく、じっくり考えさせて納得させた上で行動を期待しないと、本当の自主性につながらないと思う。とても効果的な展開だった。
- 親の立場として考えを深めていく活動があり、広い視野から自分を見つめることができていた。
- 身近な親の立場で判断するというのは、子供たちにとって興味深いことだったと思う。SNS以外でもこのような視点で考えていく活動を取り入れていければと思う。